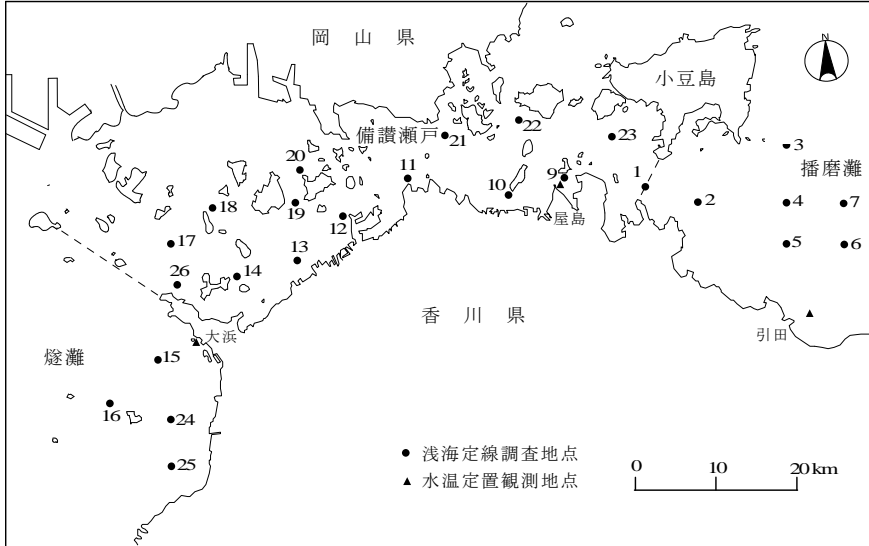


香川県漁海況情報 平成28年1月 (H27-10号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成28年1月6日（備讃瀬戸，燧灘）， 1月7日（播磨灘）

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高め」から「著しく高め」、塩分は「かなり低め」から「やや低め」、透明度は「平年並み」から「やや高め」、溶存酸素は「かなり低め」から「やや高め」であった。

1月

| | | 水温 (°C) | | | 塩分 (PSU) | | | 透明度 (m) | 溶存酸素 (ml/l) | |
|------|---------|---------|-------|-------|----------|-------|-------|---------|-------------|-------|
| | | 表層 | 10m層 | 底層 | 表層 | 10m層 | 底層 | | 表層 | 底層 |
| 播磨灘 | 7地点平均値 | 14.4 | 14.4 | 14.7 | 31.8 | 31.8 | 31.9 | 7.8 | 5.54 | 5.56 |
| | 平年値 | 12.6 | 12.6 | 12.5 | 32.5 | 32.5 | 32.6 | 8.1 | 5.97 | 5.94 |
| | 平年偏差 | 1.8 | 1.8 | 2.2 | -0.7 | -0.7 | -0.7 | -0.3 | -0.43 | -0.38 |
| | 標準偏差(σ) | 1.0 | 1.0 | 1.1 | 0.7 | 0.7 | 0.6 | 2.8 | 0.27 | 0.28 |
| | 状況 | かなり高め | かなり高め | 著しく高め | やや低め | やや低め | やや低め | 平年並み | かなり低め | かなり低め |
| 備讃瀬戸 | 14地点平均値 | 13.3 | 13.3 | 13.3 | 31.5 | 31.5 | 31.5 | 8.2 | 5.91 | 5.91 |
| | 平年値 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 32.7 | 32.7 | 32.7 | 6.0 | 5.98 | 5.98 |
| | 平年偏差 | 1.4 | 1.4 | 1.4 | -1.2 | -1.2 | -1.2 | 2.2 | -0.07 | -0.07 |
| | 標準偏差(σ) | 1.0 | 1.1 | 1.1 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 1.9 | 0.30 | 0.27 |
| | 状況 | やや高め | やや高め | やや高め | かなり低め | かなり低め | かなり低め | やや高め | 平年並み | 平年並み |
| 燧灘 | 4地点平均値 | 13.5 | 13.6 | 13.7 | 31.7 | 32.1 | 32.1 | 6.0 | 6.35 | 6.00 |
| | 平年値 | 12.4 | 12.4 | 12.4 | 32.9 | 32.9 | 32.9 | 7.2 | 6.04 | 5.93 |
| | 平年偏差 | 1.1 | 1.3 | 1.3 | -1.1 | -0.8 | -0.8 | -1.2 | 0.31 | 0.07 |
| | 標準偏差(σ) | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 0.7 | 0.6 | 0.6 | 2.4 | 0.29 | 0.24 |
| | 状況 | やや高め | やや高め | やや高め | かなり低め | やや低め | かなり低め | 平年並み | やや高め | 平年並み |

平年偏差＝平均値－平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和56年（1981）1月～平成22年（2010）12月

溶存酸素：昭和56年（1981）2月～平成22年（2010）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

| | | |
|---------------|--|------------|
| 平年並み | $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ | (σ : 標準偏差) |
| やや高め (やや低め) | $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$ | |
| かなり高め (かなり低め) | $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$ | |
| 著しく高め (著しく低め) | $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$ | |

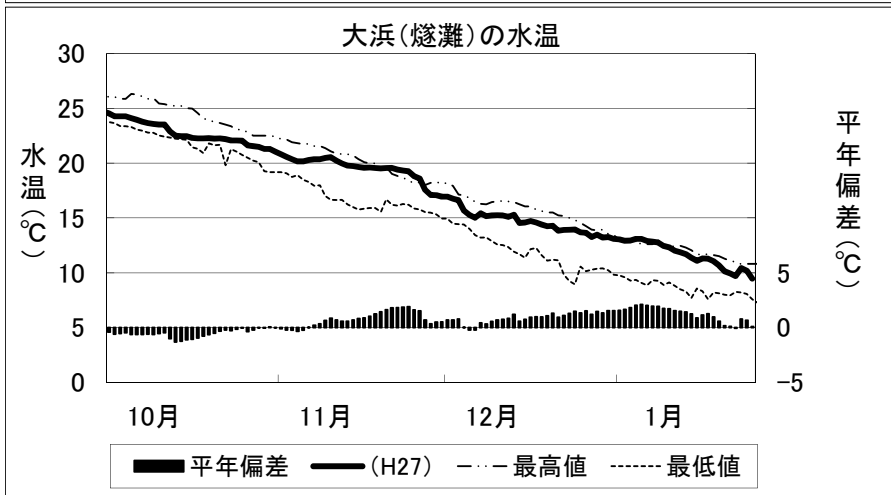
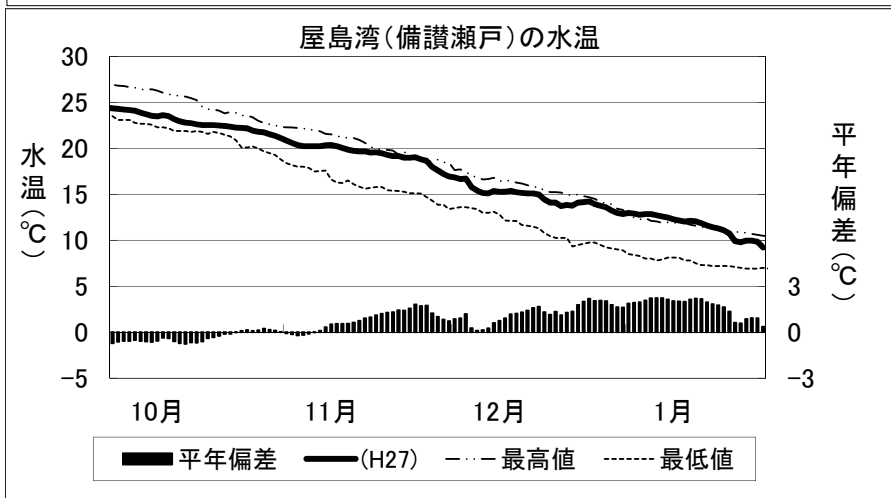
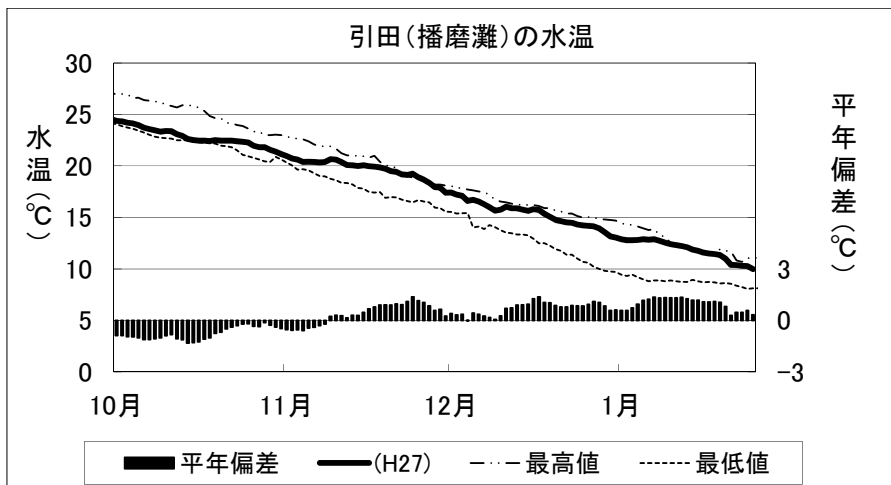
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 10月はかなり低めから平年並み, 11月はやや低めからかなり高め, 12月は平年並みからやや高め, 1月はやや高めからかなり高めで推移している (11月下旬に3日, 1月中旬に2日, 過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 10月はやや低めから平年並み, 11月は平年並みからかなり高め, 12月は平年並みからかなり高め, 1月は著しく高めからやや高めで推移している。(11月下旬に2日, 1月に17日, 過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 10月はかなり低めから平年並み, 11月は平年並みから著しく高め, 12月は平年並みからかなり高め, 1月は著しく高めからやや高めで推移している。(11月下旬に6日, 1月上旬に6日, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 26 (2014) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 26 (2014) 年



4) 赤潮 (12月29日～1月31日)

播磨灘：発生なし
 備讃瀬戸：発生なし
 燧灘：発生なし

5) 卵稚仔

調査日：平成28年1月6日(備讃瀬戸, 燧灘), 1月7日(播磨灘)

出現量

| | | カタクチイワシ | | マイワシ | | イカナゴ | その他の魚類 | |
|------|--------|---------|-----|------|-----|------|--------|-----|
| | | 卵 | 稚仔 | 卵 | 稚仔 | 稚仔 | 卵 | 稚仔 |
| 播磨灘 | 平均値 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.6 |
| | 対平年(%) | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | | |
| | 平年値 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 2.3 | | |
| 備讃瀬戸 | 平均値 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.2 | 0.1 | 0.3 |
| | 対平年(%) | - | - | 0.0 | 0.0 | 26.3 | | |
| | 平年値 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 4.6 | | |
| 燧灘 | 平均値 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 |
| | 対平年(%) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| | 平年値 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | | |
| 総平均 | 平均値 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.1 | 0.4 |
| | 対平年(%) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 18.6 | | |
| | 平年値 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 3.2 | | |

—：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

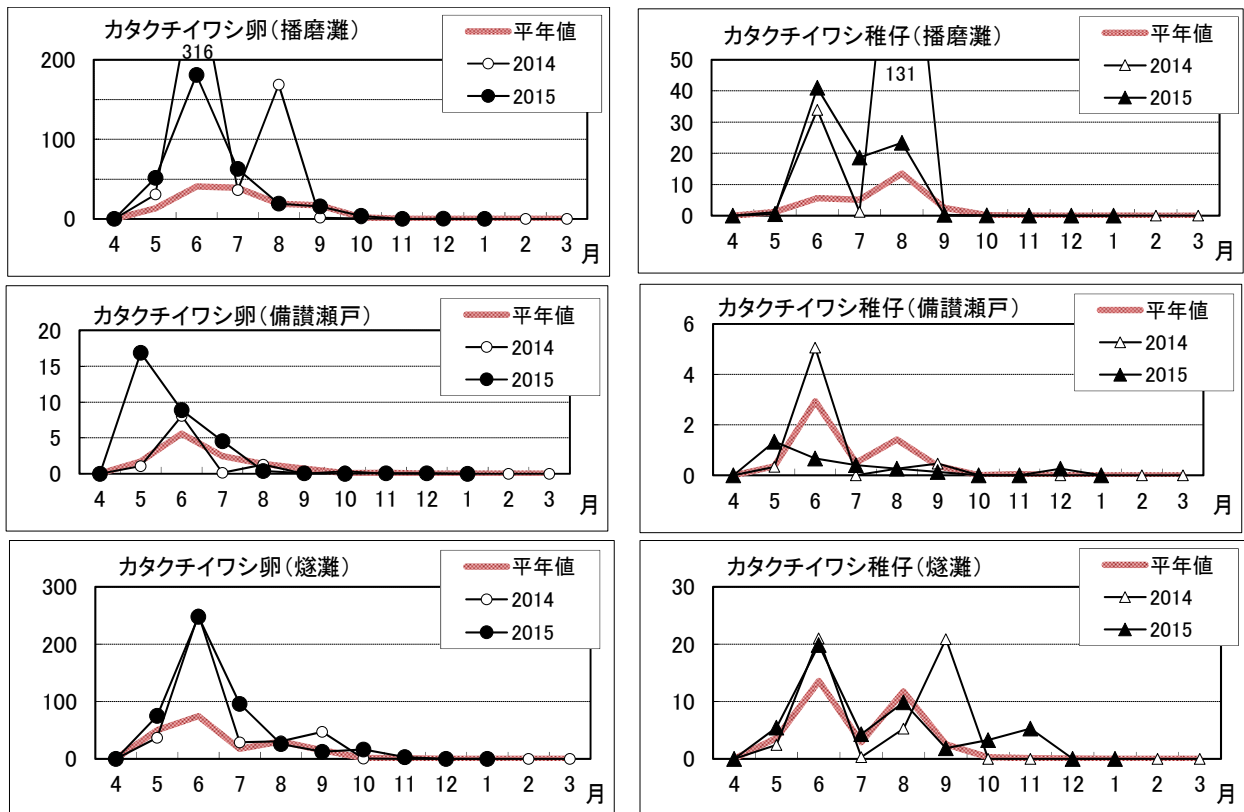
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成26(2014)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成26(2014)年度

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。

*イカナゴの卵は、沈性弱粘着卵のため、プランクトンネットではほとんど採集されません。



2. 漁況

1) 12月からの漁況は次のとおりである。

| 海 域 | 漁 況 |
|---------|---|
| 播 磨 灘 | <p>底びき網では、マコガレイ、イシガレイ、メイタガレイ、イヌノシタ、コイチ、マゴチ、オニオコゼ、アカエイ、コウイカ、シリヤケイカ、アカガイ、小エビ類、クルマエビ、ヨシエビ、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>柵網では、マサバ、タチウオ、マダイ、クロダイ、スズキ、ボラ、コモンフグ、カワハギ、ウマヅラハギ、シロギス、シログチ、メバル、マゴチ、ホウボウ、マコガレイ、イヌノシタ、ヒラメ、マアナゴ、マダコ、コウイカ、シリヤケイカなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、メバル、タケノコメバル、カサゴ、マゴチ、ナシフグ、カワハギ、ウマヅラハギ、マコガレイ、メイタガレイ、キジハタ、マダコ、コウイカ、マナマコなどが漁獲されている。</p> <p>大型定置網（大敷網）では、マアジ、サワラ、サゴシ、シログチ、マナガツオ、スズキ、タチウオ、カワハギ、ウスバハギ、ナゴヤフグ、コウイカ、シリヤケイカなどが漁獲されている。</p> |
| 備 讃 瀬 戸 | <p>底びき網では、ヒラメ、マコガレイ、メイタガレイ、イシガレイ、コウライアカシタビラメ、イヌノシタ、セトウシノシタ、マダイ、クロダイ、スズキ、コイチ、セトダイ、ナシフグ、カワハギ、ウマヅラハギ、アイナメ、タチウオ、マアナゴ、シロギス、トラギス、オニオコゼ、カサゴ、アカエイ、マダコ、イイダコ、コウイカ、ベイカ、アカニシ、クルマエビ、小エビ類、ガザミ等が漁獲されている。</p> <p>建網では、オニオコゼ、マコガレイ、メバル、クロダイなどが漁獲されている。</p> |
| 燧 灘 | <p>底びき網では、メイタガレイ、マコガレイ、イヌノシタ、オニオコゼ、カワハギ、マダイ、クロダイ、スズキ、マゴチ、マアナゴ、アイナメ、シロギス、トラフグ、ナシフグ、コモンフグ、コイチ、テンジクダイ、アカエイ、アカハゼ、マダコ、イイダコ、シリヤケイカ、ミミイカ、タイラギ、アカニシ、ツメタガイ、クルマエビ、クマエビ、ヨシエビ、小エビ類、ガザミ、シャコなどが漁獲されている。</p> <p>建網、柵網では、マコガレイ、クロダイ、カワハギ、マゴチ、アカエイ、ガザミなどが漁獲されている。</p> |

※：播磨灘の大型定置網は、漁獲日誌 12 月分より。

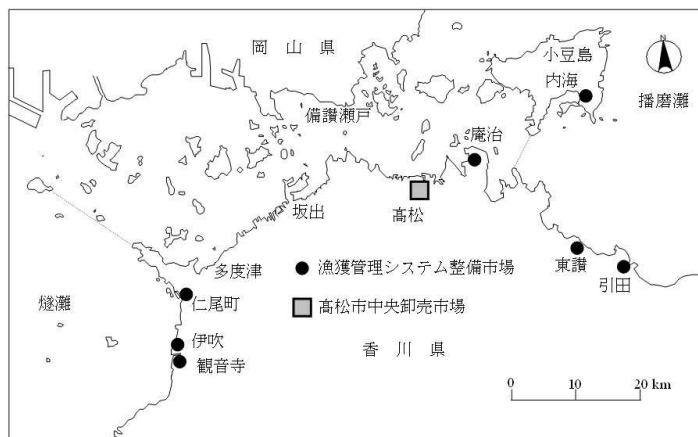
2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした漁獲情報システムで、本県では以下の産地市場に整備している。

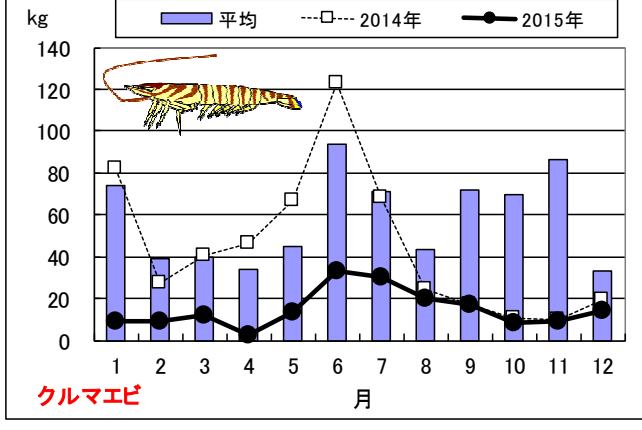
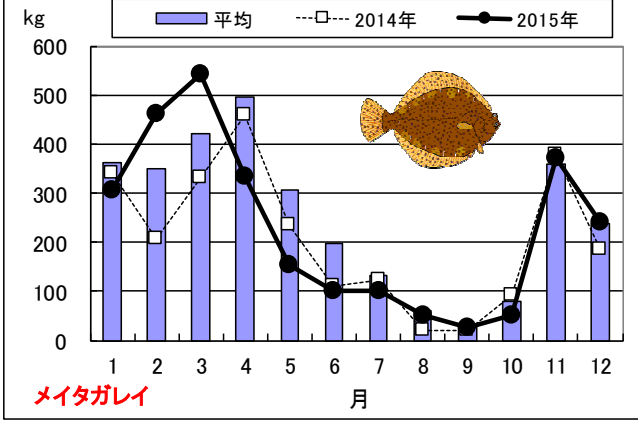
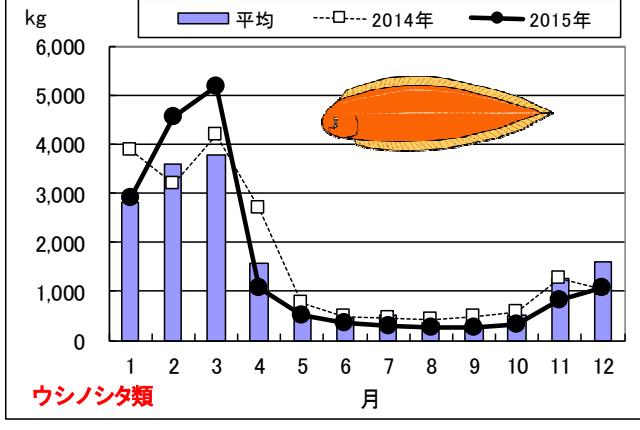
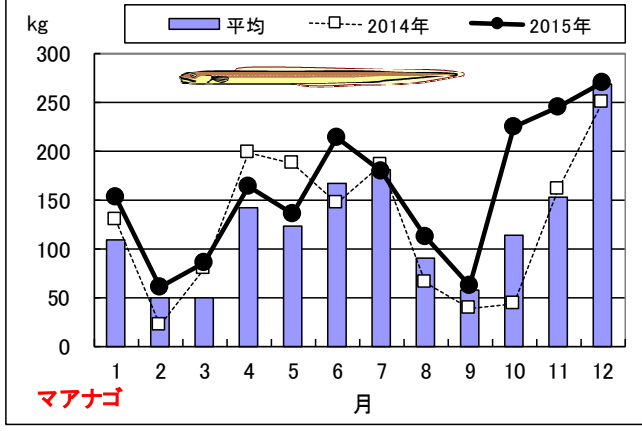
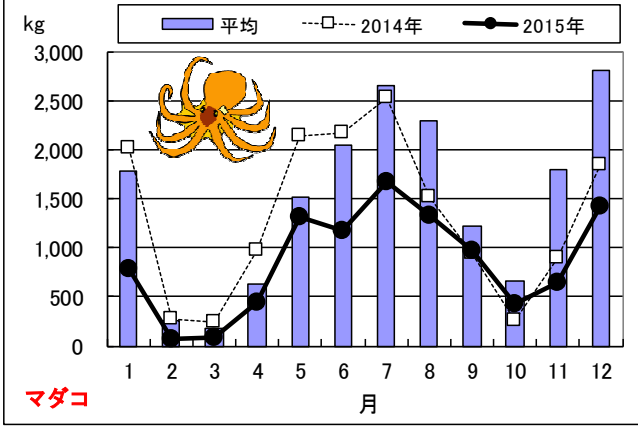
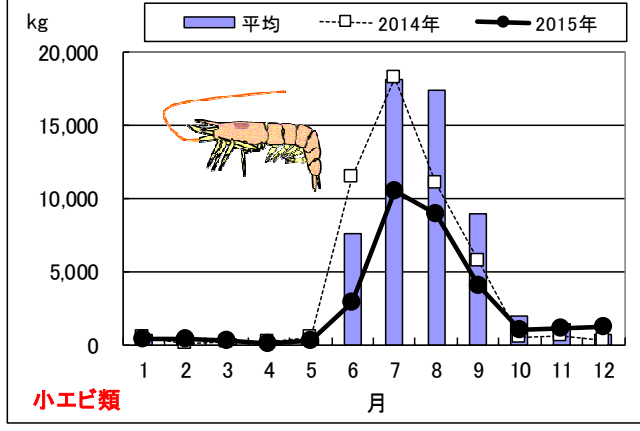
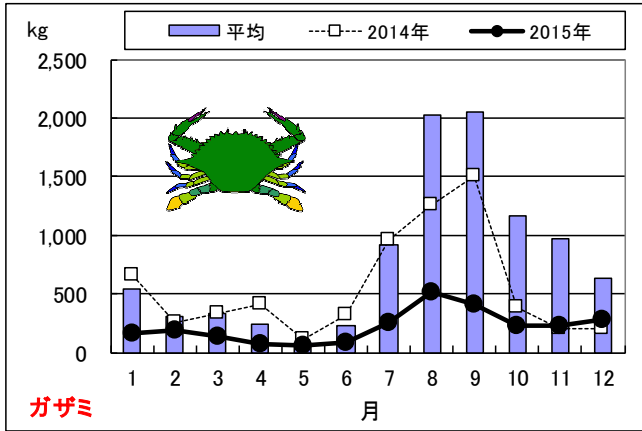
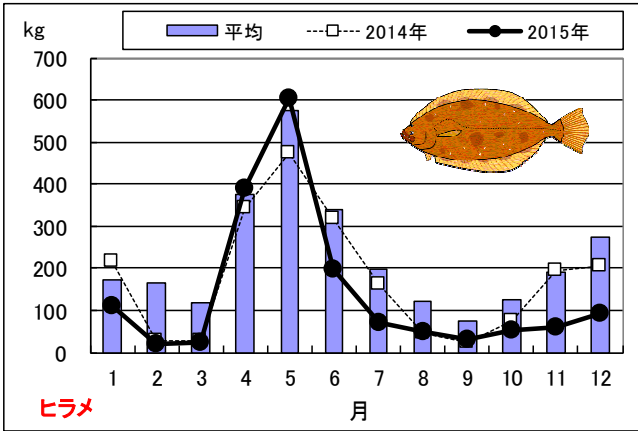
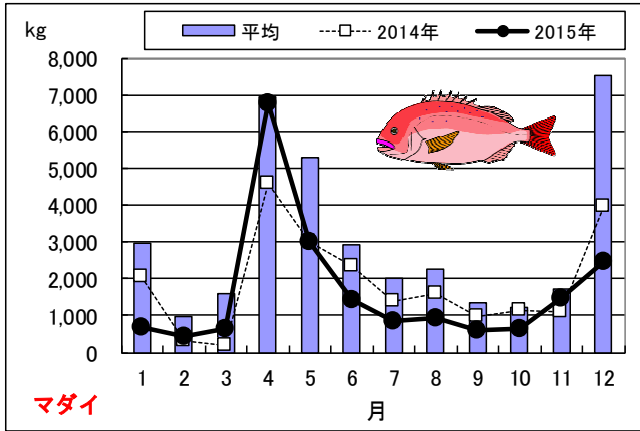
(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。



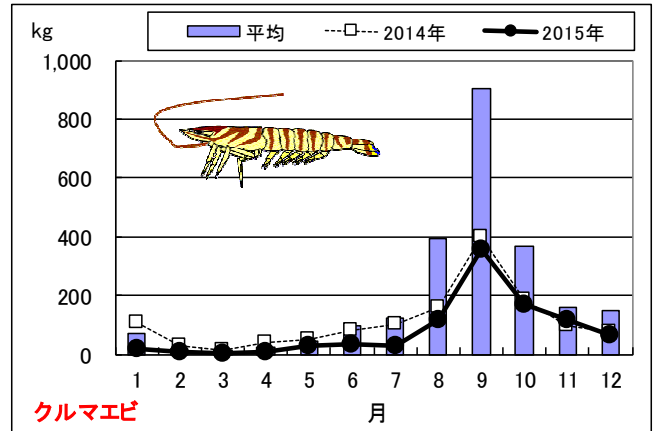
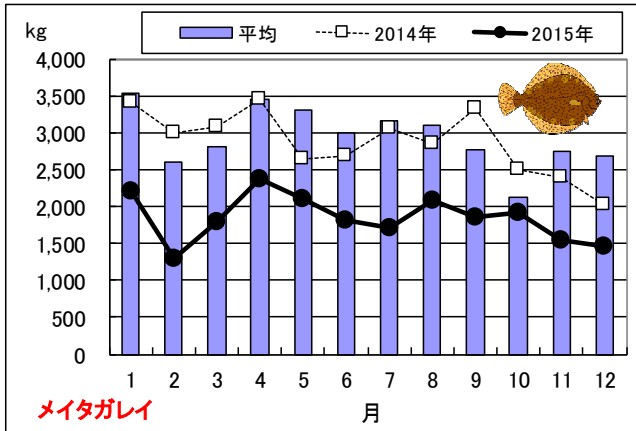
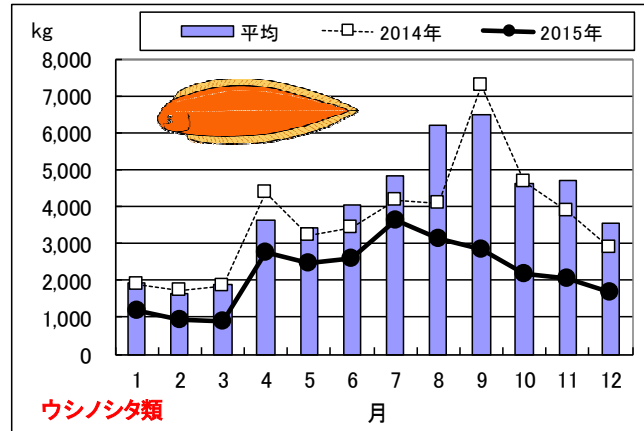
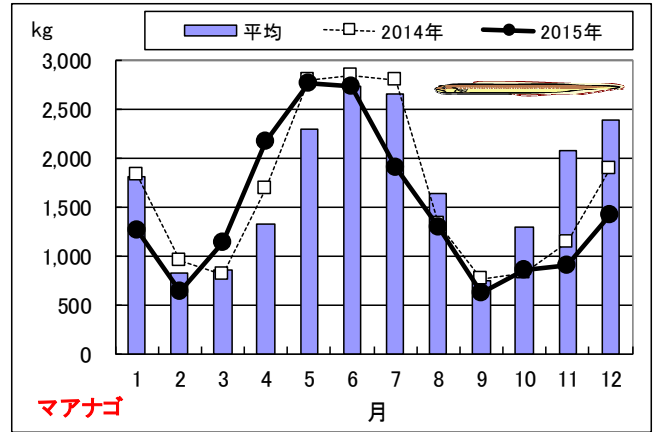
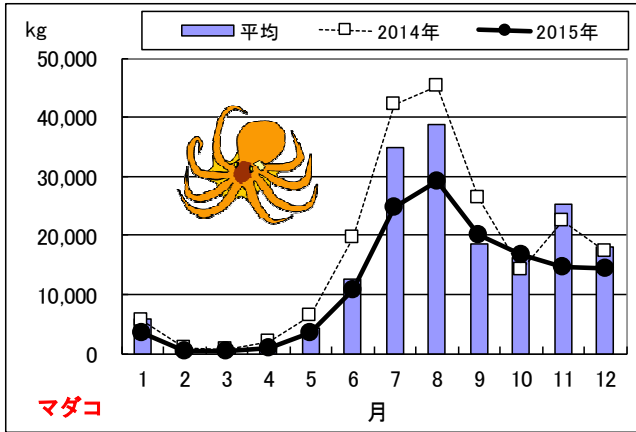
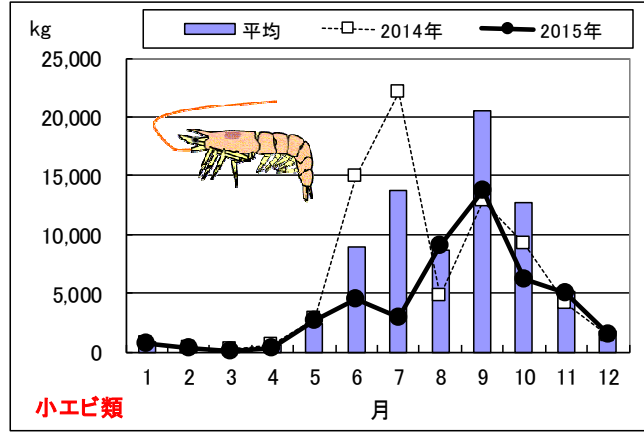
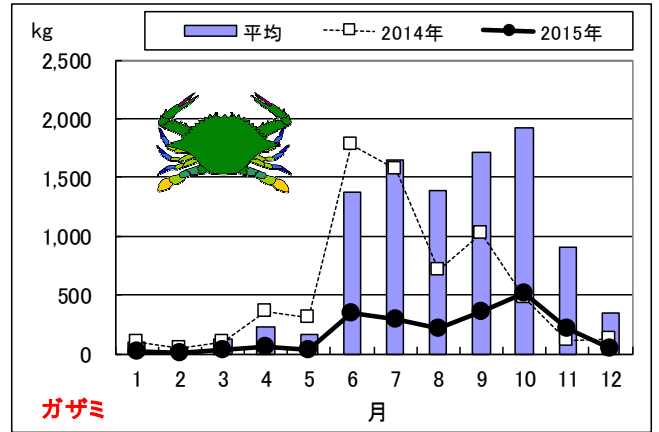
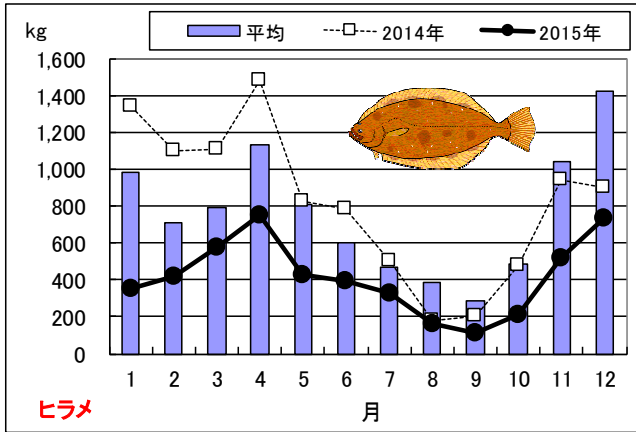
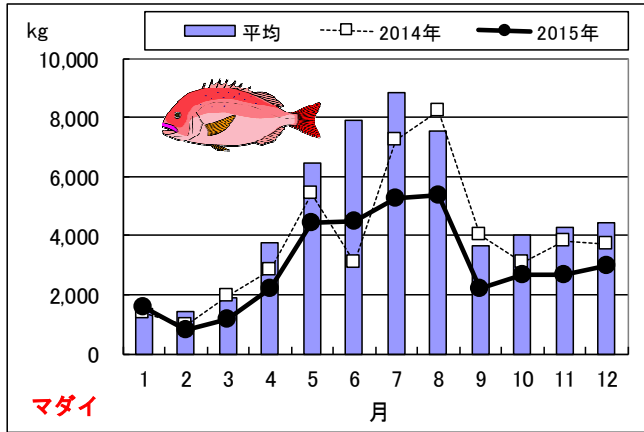
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2010年から2014年の5年間の平均。



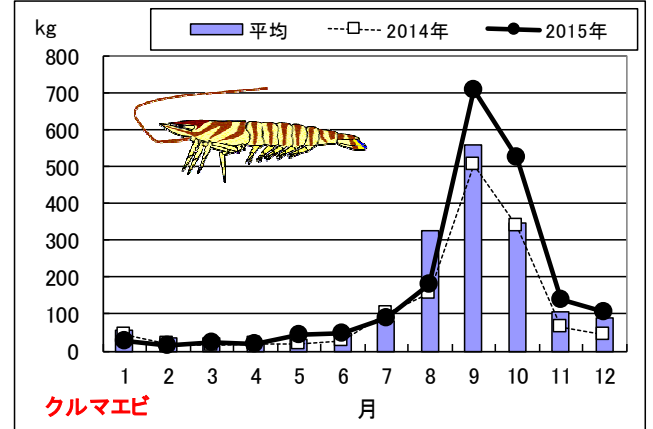
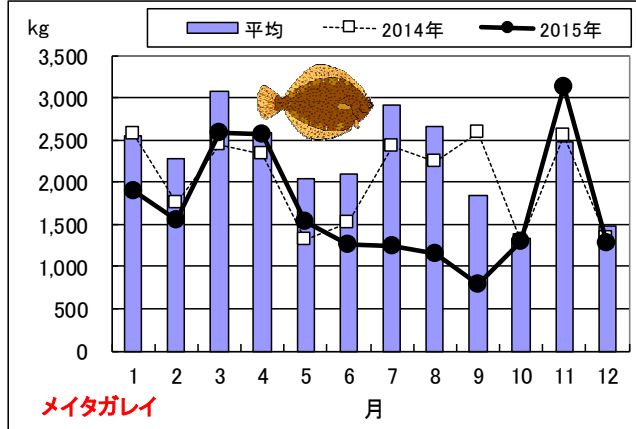
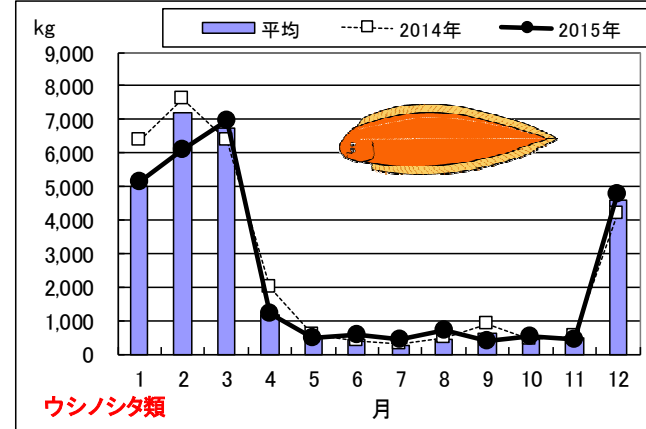
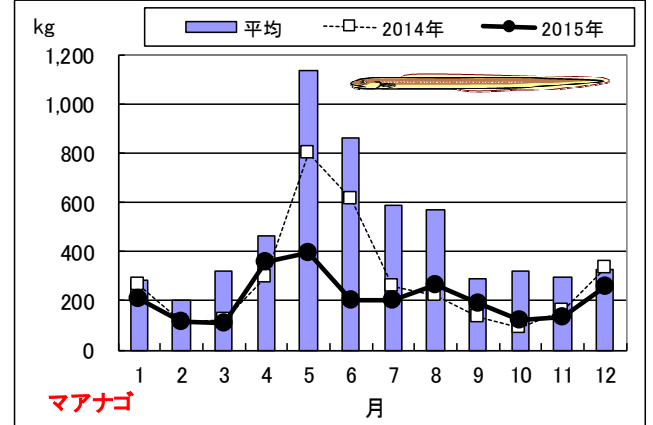
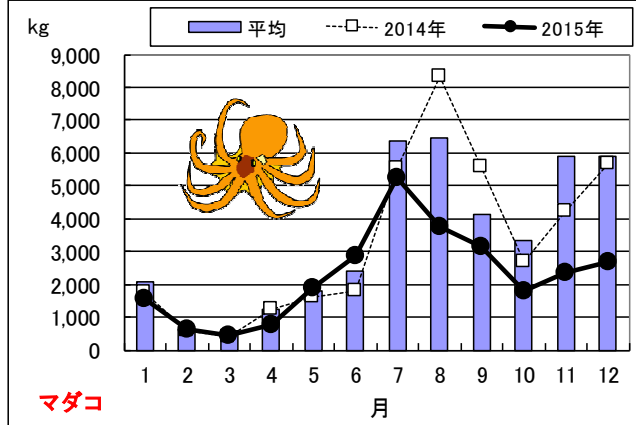
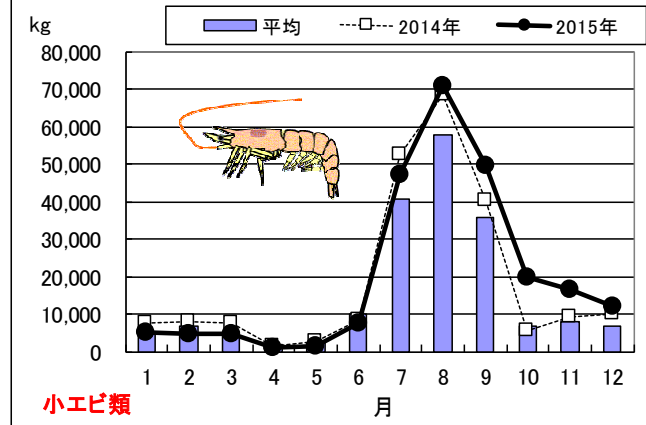
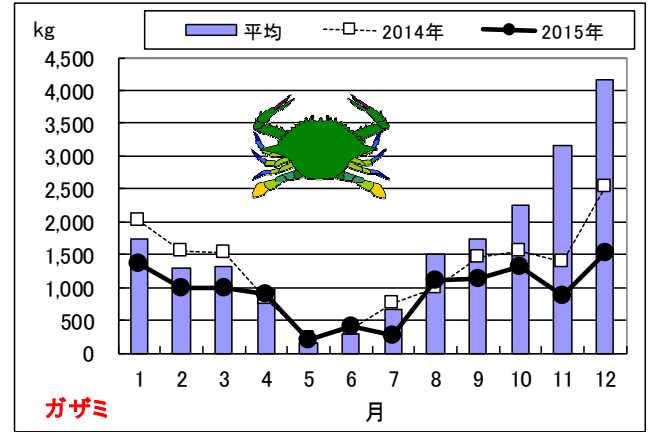
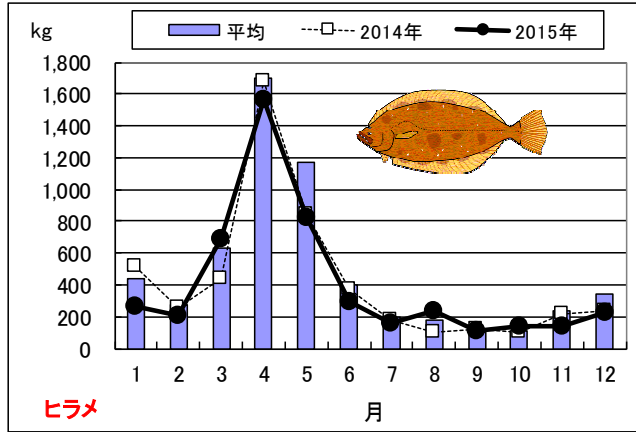
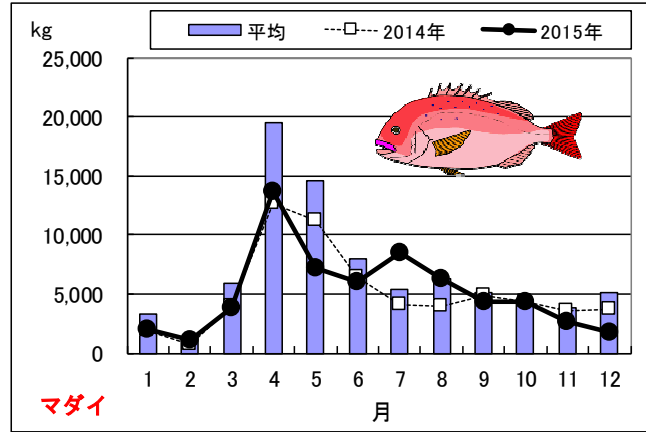
備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

平均値は、2010年から2014年の5年間の平均。



燧灘（仁尾町+観音寺+伊吹） T A Cシステムデータより

平均値は、2010年から2014年の5年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

